

# 公安委員会定例会議(第20回)の開催状況

第1 日 時 令和3年8月4日(水)

午後1時40分 ～ 午後5時15分

第2 出席者 曾我部委員長、渡部委員、五葉委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長  
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長  
総務課長

第3 議事の概要

## 1 委員長説示

東京オリンピックでは、連日、日本人アスリートの奮闘ぶりが報道されています。

このトップアスリートを育てる指導者が大事にしている言葉は、「TRICK」であると、かつて聞いたことがあります。この「TRICK」とは、単語「trust (信頼)、respect (経緯)、independent (自主的な)、collaborate (共同して行う)、kind (思いやりのある)」の頭文字を組み合わせたものですが、これは、アスリート以外にも通用するものではないかと考えています。

私も、約30年前、会社の社長に就任した頃、業績を伸ばさなければならぬと頑張りすぎて、部下に対し、つい必要以上に口出しや手出しをしてしまった経験があります。その際、ある人から、「業績を伸ばしたいなら、部下を信じ、任すところはしっかりと任せることが大事だ」とのアドバイスをもらいました。それらを実践することで、業績も好転していった覚えがあります。

参考にしていただければ幸いです。

## 2 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和3年第19回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

### (2) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

- (3) 審査請求の申立て  
警務部から、審査請求の申立てに関する伺いがあり了承した。
- (4) 委員監査の実施  
警務部から、委員監査の実施について報告があり了承した。

### 3 報告事項

- (1) 令和3年夏季人事異動の日程  
警務部長から、令和3年夏季人事異動の日程について報告があった。  
委員から、「職員や家族への配慮もお願いしたい」との発言があった。
- (2) 令和3年度第1四半期における監察の実施結果  
首席監察官から、令和3年度第1四半期における監察の実施結果について報告があった。  
委員から、「業務の点検は引き続き徹底して行いつつ、必要があれば改善に努めていただきたい」との発言があった。
- (3) 令和3年上半期における自動車警ら隊の活動状況  
生活安全部長から、令和3年上半期における自動車警ら隊の活動状況（検挙活動、初動警察活動等）について報告があった。  
委員から、「先般、自動車警ら隊の視察を行い、隊員は皆、使命感を持って頑張っていると頼もしく感じた。引き続き、県民の安全安心確保のため頑張っていたいただきたい」との発言があった。
- (4) 令和3年上半期におけるサイバー犯罪の現状と今後の対策  
生活安全部長から、県内におけるサイバー犯罪の検挙状況、相談状況などの現状や、サイバー空間の脅威への対応の強化、組織基盤の更なる強化等今後の対策について報告があった。  
委員から、「サイバー攻撃は世界各国で発生している。国とも連携しつつ、しっかりと対応していただきたい」との発言があった。  
委員から、「組織基盤の強化に向け、若手職員のみならず、幅広い層への教養等も行っていたいただきたい」との発言があった。
- (5) 令和3年上半期における刑法犯認知・検挙状況  
生活安全部長及び刑事部長から、令和3年上半期における全刑法犯認知状況（認知件数2,807件、前年同期比マイナス9.9%）及び検挙状況（検挙件数1,514件、前年同期比プラス3.1%）等について報告があった。  
委員から、「刑法犯認知件数の過半数が窃盗と聞くが、窃盗犯の若年化を防ぐ取組を推進していただきたい」との発言があった。

委員から、「“軽い気持ちで万引きをする”ということを少しでも減少させる取組も推進していただきたい」との発言があった。

(6) 贈収賄等事件被疑者の逮捕

刑事部長から、宇和島署管内における贈収賄等事件の被疑者を逮捕した旨の報告があった。

委員から、「困難な事件であるが、綿密な捜査により検挙していただいた」との発言があった。

(7) 死亡ひき逃げ事件の検挙

交通部長から、7月31日に大洲市内で発生した死亡ひき逃げ事件について、被疑者を検挙した旨の報告があった。

委員から、「迅速かつ的確な捜査で早期の検挙に結び付けていただいた」との発言があった。

委員から、「道路の横断方法に関する広報啓発も引き続き実施していただきたい」との発言があった。

4 その他

本部長から、「委員長説示のとおり、“TRICK”は、全ての組織の上司に必要なところだと考えている。例えば、先に報告した自動車警ら隊員はリスペクトすべき対象であり、このように、部下に敬意を払い信頼をすることで、組織の力を最大限に引き出し、県民の安全安心の確保に努めていきたい」との発言があった。

以 上